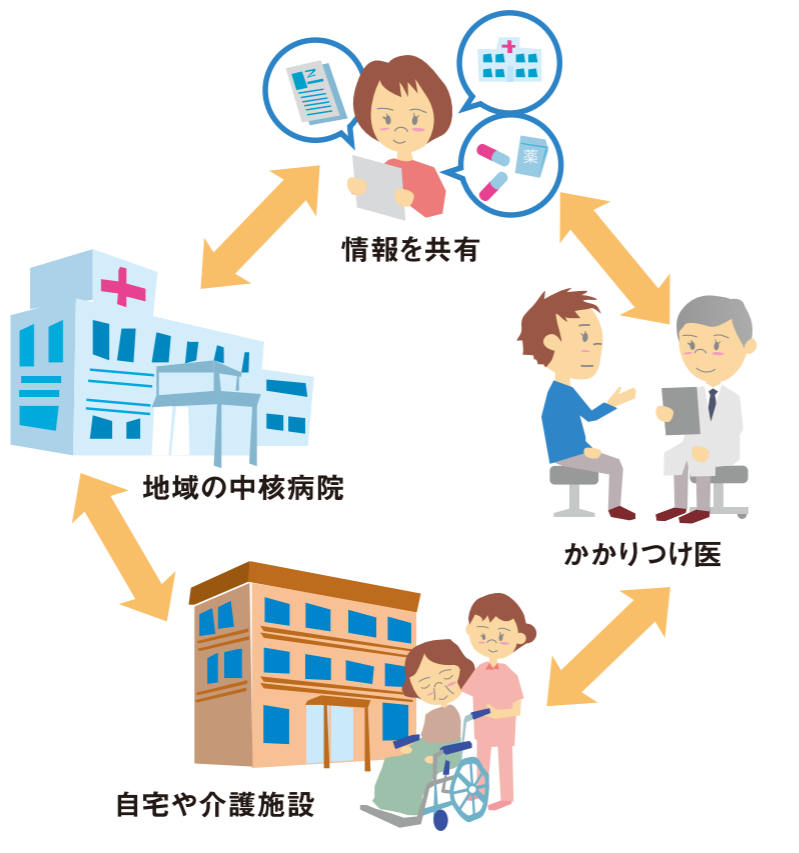


阿波あいネット始動!

阿波あいネットとは

平成30年4月、徳島県全域 EHR「阿波あいネット」が始動しました。阿波あいネットとは、徳島大学病院が中心となって進めてきた総務省が推進する「クラウド型EHR高度化事業」のひとつで、徳島県下の医療機関や介護施設などの患者情報を双方向に共有できるコンピュータ・ネットワークです。これまでの情報共有は、大学病院などの中核病院からの情報提供が主であり、地域の診療所等と双方向で情報共有できる仕組みはありませんでした。しかし、この阿波あいネットでは、病状や処方薬等の患者情報が正確に共有されるため、医療機関はより安全で質の高い医療が提供できます。



患者の皆様へ

患者さんは、阿波あいネットにいつでも参加し、いつでもやめることができます。徳島大学病院へおかけの方は、外来受診時や入院退院時の事務手続きと一緒に手続きできますし、その他の方も事務局へ直接ご連絡いただくことで簡単に参加できます。今は約100の関係施設と約2万人の患者さんに参加していただいてスタートしましたが、平成32年までには250施設、4万人の参加を目指しています。まずは「阿波あいネット」という患者さんの医療と健康を守るための仕組みを知っていただき、参加のご検討をお願いします。



■説明は、
病院情報センター
特任助教
玉木 悠 (たまき ゆう)

■問い合わせ先
一般社団法人阿波あいネット事務局
TEL/090-1558-5889
Mail/info.alltks-ehr@ml.tokushima-u.ac.jp
詳しくは・・・阿波あいネットHP
<https://alltks-ehr.localinfo.jp/>

○ 阿波あいネットに参加すれば

患者さんにとっての大きなメリットは、普段かかっていない医療機関を受診する時や、複数の医療機関にかかっているときです。例えば、急病や事故のとき、阿波あいネットに参加していれば搬送先で持病やアレルギーの有無を瞬時に把握し、適切な処置を行うことができます。患者さんご自身が処方薬や検査結果についてうまく説明できなくても大丈夫です。また、大規模災害が発生し、かかりつけ医のカルテが喪失された場合でも、阿波あいネットにデータがバックアップされているため、医療の継続性が担保されます。



個人情報保護について

収集した情報は、国の基準に準拠した暗号化通信を利用してやりとりされます。強力なセキュリティと、守秘義務を負った従事者が個人情報を守ります。